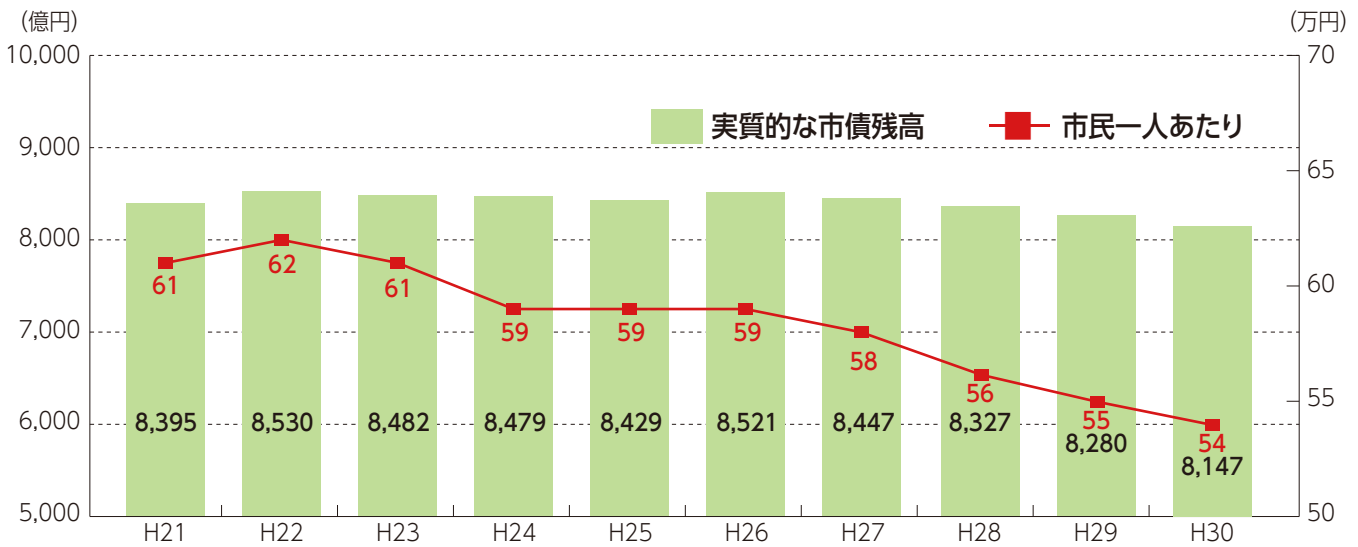


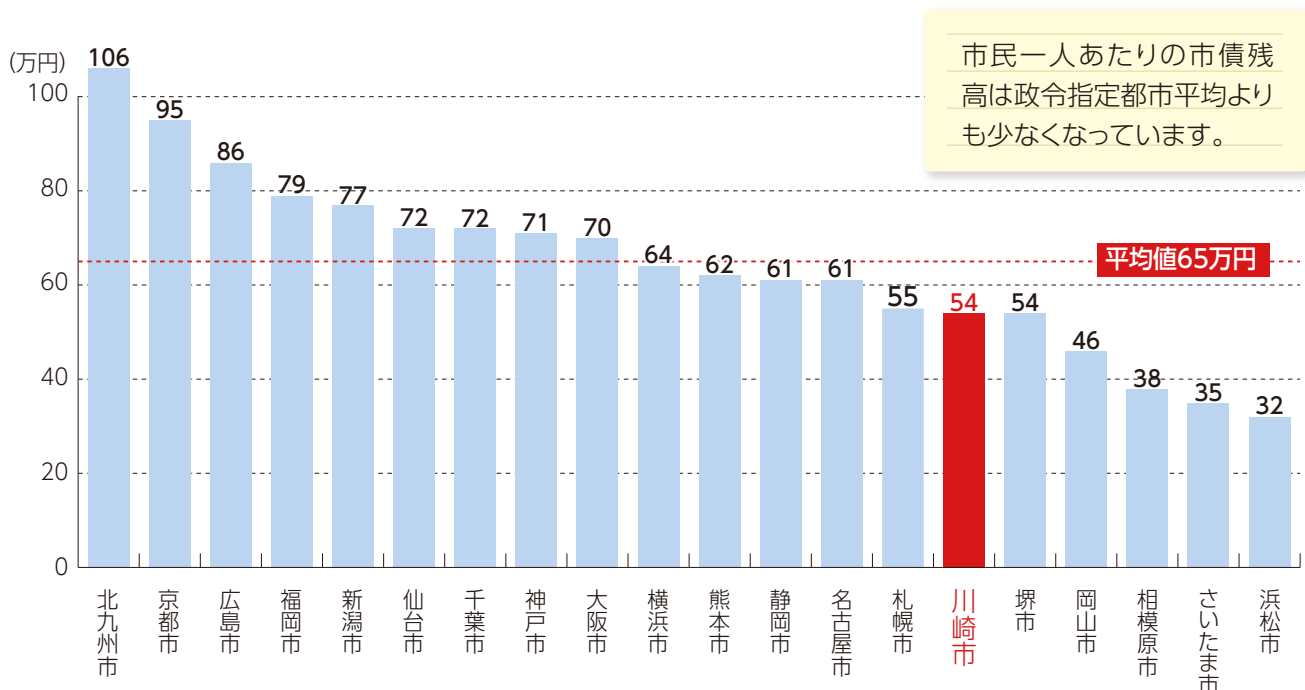
市の将来像を確認しながら 借入金のバランスを考えています。

市債の残高はどうなっているの？

実質的な市債残高と市民一人あたり残高の推移(普通会計決算額)

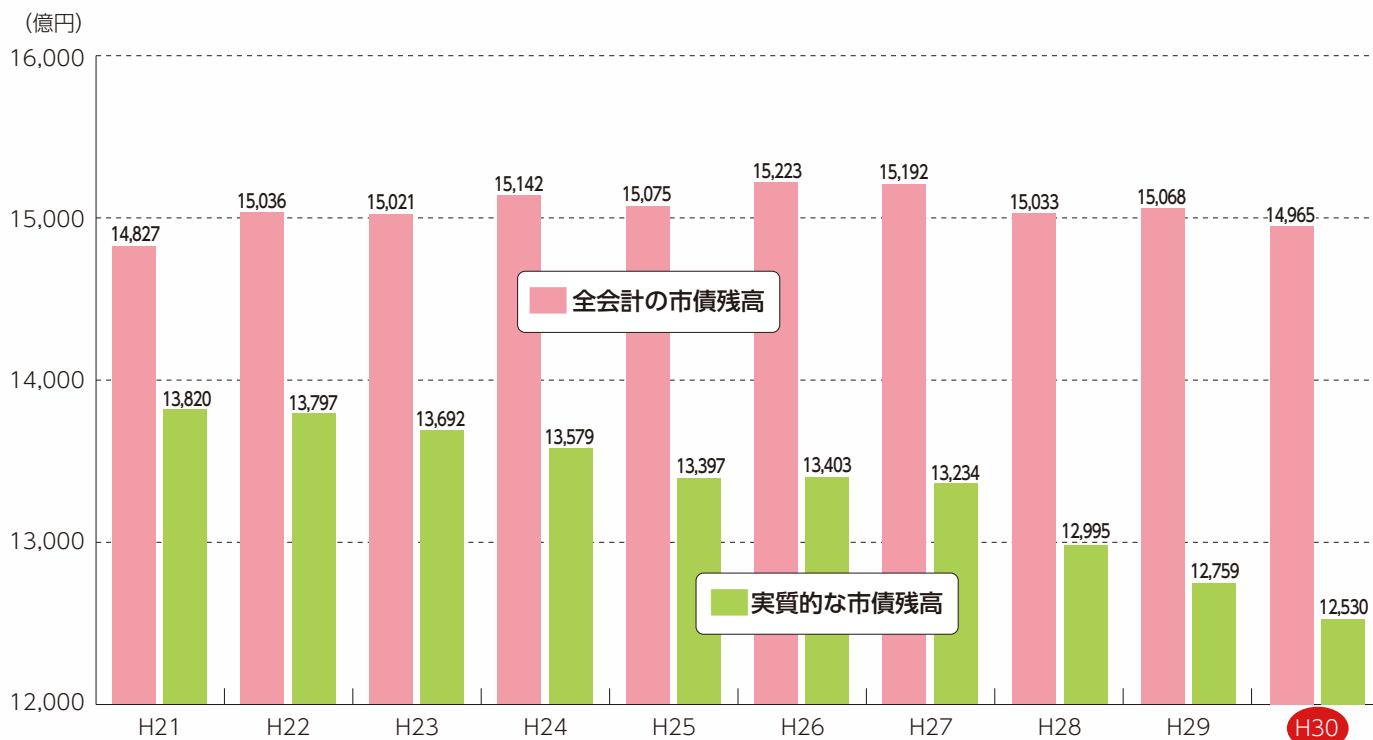


政令指定都市市民一人あたりの実質的な市債残高(平成30年度 普通会計決算)



全会計の「実質的な」市債残高は？

全会計の市債残高の推移



市債の償還(借金の返済)を計画的に行うために、**減債基金**という基金に積立てを行っています。そのため、積立分を差し引いたものが実質的な市債の残高になります。



主に水道料金や下水道使用料などにより償還(返済)する市債
4,486億円

平成30年度
全会計市債残高(決算)
1兆4,965億円

主に市税などにより償還(返済)する市債
1兆4,799億円

素朴な疑問？

市はなぜ市債の発行(借金)をするのでしょうか

学校などの公共施設を建てるために、多額のお金が必要です。その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建設費を負担するのは、その時の市民だけになってしまい不公平がうまれますし、ほかの行政サービスに予算が回らなくなるなどの影響が出てしまいます。そのため、市債を発行して借入をし、将来の市民にも平等に負担をしてもらうようにしているのです。

それぞれに納税者となる時期が異なるので…

最初の年～10年後の税で負担

11年後～20年後の税で負担

21年後～30年後の税で負担

